

# 【公表】 保護者・生徒アンケート結果

■期間:10月16日-10月28日  
 ■方法:アンケートフォームにて集約

## 保護者アンケート結果

保護者アンケート結果 回答数 38/52家庭 回収率73.1%		A 4 個 数 (あ て は ま る)	B 3 個 数 (だ い たい)	C 2 個 数 (あ ま り)	D 1 個 数 (あ て は ま ら ない)	無 回 答 個 数	回 答 数	A 4 個 数 (あ て は ま る)	B 3 個 数 (だ い たい)	C 2 個 数 (あ ま り)	D 1 個 数 (あ て は ま ら ない)	無 回 答 割 合	令 和 6 年 度 平 均 値
1	お子さんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか。	14	18	6	0	0	38	37%	47%	16%	0%	0%	3.2
2	学校では、わかりやすい授業を行っていると思いますか。	8	25	3	0	2	38	21%	66%	8%	0%	5%	3.1
3	学校では、生徒一人一人に応じた学習指導を行っていると思いますか。	10	22	4	0	2	38	26%	58%	11%	0%	5%	3.2
4	学校では、学ぶべき学習内容を確実に授業で取り扱い、適した評価を行っていると思いますか。	10	25	1	1	1	38	26%	66%	3%	3%	3%	3.2
5	学校では、挨拶と返事の指導が行われていると思いますか。	11	22	4	0	1	38	29%	58%	11%	0%	3%	3.2
6	学校では、生徒に寄り添い保護者とともに教職員が同じ方向性で迅速に組織的な生徒指導を行っていると思いますか。	11	22	4	0	1	38	29%	58%	11%	0%	3%	3.2
7	家庭では、学校と連携してお子さんのSNSの利用過多等の生活リズム改善と家庭学習習慣の強化に取り組んでいますか。	8	21	7	0	2	38	21%	55%	18%	0%	5%	3.0
8	家庭では、学校と連携してお子さんの運動や栄養、衛生などの健康について取り組んでいますか。	12	18	6	0	2	38	32%	47%	16%	0%	5%	3.2
9	学校での生徒会活動、朝学習、部活動などの学校での課外活動は、生徒にとって有意義なものとなっていると思いますか。	14	19	2	1	2	38	37%	50%	5%	3%	5%	3.3
10	学校では、障がいの有無によらず、保護者とともに生徒個々に寄り添い生活面や学習面の困難への支援を行っていると思いますか。	14	17	4	0	3	38	37%	45%	11%	0%	8%	3.3
11	学校では、進学、進級、進路等に関わり、丁寧かつ的確な情報提供や指導・相談を行っていると思いますか。	13	22	2	0	1	38	34%	58%	5%	0%	3%	3.3
12	学校では、小学校との連携による9年間の教育を目標にした取り組みが行われていると思いますか。	8	16	9	2	3	38	21%	42%	24%	5%	8%	2.9
13	学校では、日ごろから清掃美化に努め教育環境としての整備をしていると思いますか。	11	25	1	0	1	38	29%	66%	3%	0%	3%	3.3
14	学校では、学校日よりや、各種通信、HP、参観日等により、お子さんの様子や成果と課題を積極的に発信していると思いますか。	15	21	1	0	1	38	39%	55%	3%	0%	3%	3.4
15	学校では、保護者が相談できる環境を作っていると思いますか。	14	19	3	0	2	38	37%	50%	8%	0%	5%	3.3
16	学校では、PTA活動や学校行事、課外活動などで家庭とよく協力していると思いますか。	14	20	1	0	3	38	37%	53%	3%	0%	8%	3.4

生徒アンケート結果 回答数 53/59人 回収率89.8%		A 4 個 数 (あ て は ま る)	B 3 個 数 (だ い たい)	C 2 個 数 (あ ま り)	D 1 個 数 (あ て は ま ら ない)	無 回 答 個 数	回 答 数	A 4 個 数 (あ て は ま る)	B 3 個 数 (だ い たい)	C 2 個 数 (あ ま り)	D 1 個 数 (あ て は ま ら ない)	無 回 答 割 合	令 和 6 年 度 平 均 値
Q-U アンケート結果 回答数 57/59人 回収率96.6%		5 個 数 ※ Q U の み	4 個 数 (だ い たい)	3 個 数 (だ い たい)	2 個 数 (あ ま り)	1 個 数 (あ て は ま ら ない)	回 答 数	5 個 数 ※ Q U の み	4 個 数 (だ い たい)	3 個 数 (だ い たい)	2 個 数 (あ ま り)	1 個 数 (あ て は ま ら ない)	令 和 6 年 度 平 均 値
1	QU) クラスの中で存在感があると思う	18	17	13	6	3	57	32%	30%	23%	11%	5%	3.7
2	QU) クラスで行う活動には積極的に取り組んでいる	24	21	5	4	3	57	42%	37%	9%	7%	5%	4.0
3	QU) 授業の内容はよくわかる	26	20	8	2	1	57	46%	35%	14%	4%	2%	4.2
4	QU) 学習内容を理解するため自分なりの学習の仕方がある	16	20	9	6	6	57	28%	35%	16%	11%	11%	3.6
5	わたしは、友達、先生、お客さん、地域の方に自分から挨拶と返事をしています。	26	25	1	1	53	57	49%	47%	2%	2%	3.4	
6	QU) 学校内で私を認めてくれる先生がいる	29	12	10	5	1	57	51%	21%	18%	9%	2%	4.1
7	QU) 学校内に悩みを相談できる先生がいる	29	13	9	3	3	57	51%	23%	16%	5%	5%	4.1
8	QU) 自分の将来に夢や希望を持っている	20	14	10	6	7	57	35%	25%	18%	11%	12%	3.6
9	わたしは、家での生活リズムと家庭学習の時間について、直さなければならぬことを理解して、整え直しています。	17	28	8	0	53	57	32%	53%	15%	0%	3.2	
10	わたしは、運動や栄養、衛生など自分の健康について、よりよく考えて行動しています。	23	19	8	3	53	57	43%	36%	15%	6%	3.2	
11	わたしは、学級活動や生徒会の活動に積極的に参加できていて、充実しています。	26	21	3	3	53	57	49%	40%	6%	6%	3.3	
12	QU) 部活動には自主的に参加している	29	3	1	0	0	33	88%	9%	3%	0%	0%	4.8
13	学校には、勉強や生活の悩みに寄り添い一緒に考えてくれる先生がいます。	27	17	6	3	53	57	51%	32%	11%	6%	3.3	
14	進級や進学について、先生から情報を得たり、相談ののってもらえています。	26	20	4	3	53	57	49%	38%	8%	6%	3.3	
15	小学校で学んだことと中学校で学んでいることがつながっています。	31	18	4	0	53	57	58%	34%	8%	0%	3.5	
16	学校は、いつも整理整頓・清掃活動・美化できていて、過ごしやすいです。	28	21	3	1	53	57	53%	40%	6%	2%	3.4	

# 成果

保護者アンケート) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16  
「9 課外活動」 「10 寄り添う」 「11 進路指導」 「13 清掃美化」 「14 情報発信」 「15 相談の環境」 「16 家庭との協力」  
 ・「3.5 以上」の高い平均値項目はなかった。16 項目のうち 15 項目で「3.0」の平均値以上だった。  
 生徒アンケート) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16  
「3 授業」 「5 挨拶」 「6 先生」 「11 学級・生徒会」 「12 部活動」 「13 寄り添う」 「14 進路」 「15 学びのつながり」 「16 清掃美化」  
○2 項目で「3.5 以上/QU4.3 以上」の高い平均値があった。16 項目のうち 14 項目で「3.0/QU3.7」の平均値以上だった。

＜アンケート記述より（要旨）＞  
 ○いつも子供の変化に気づいて対応し、相談にも快く応じていただきありがとうございます。

→保護者アンケート結果では、16 項目中 15 項目が 3.0 以上でそのうち 7 項目に 3.3 以上の比較的高い評価があったものの、3.5 以上の評価項目はありませんでした。学校での日常の教育実践は、生徒たちの良き姿に確実に結びつけていく必要があると捉えました。

→生徒アンケートでは、既習の学びを生かしている自分、放課後の活動に主体的に取り組んでいる自分について高い自己評価がありました。授業への取組、学級活動や生徒会の取組、教師の関わり方にも、比較的高い評価がありました。結果から、より一層、生徒自身が「しっかりやれている」と自信をもって自己評価できる日常の生活環境と生徒を認める生徒指導をしていく必要があると捉えました。

# 課題

保護者アンケート) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16  
「12 小学校との連携による 9 年間の教育」  
▲「12 小学校との連携による 9 年間の教育」は、否定評価「2・1」が 30%ほどだった。  
 生徒アンケート) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16  
「4 自分なりの学習方法」 「8 将来への夢や希望」  
▲「4 自分なりの学習方法」「将来への夢や希望」は、否定評価「2・1」が 10%以上だった。

＜アンケート記述より（要旨）＞  
 ▲家庭でももちろんですが、学校でも子供とたくさんコミュニケーションをとり子供が自信をつけられるような対応を引き続きお願いします。  
 ▲心が元気でも体が言うことを聞いてくれないなどの時に、子供に寄り添っていただけるとありがたいです。  
 ▲出席できない場合、オンラインで授業を受けられるようになれば良いと思います。  
 ▲休んだ時には、黒板の写真を送ってくれることをどの授業でもしていただきたいです。  
 ▲休んだ時に追試が必ずあるとは限らないようだったのでどのように成績がつけられるのか心配だった。  
 ▲歩道の白線が消えかかっていることや排水の蓋の傾きなど、補修して通学路の安全確保をしてほしい。

→「個別最適な学びを目線にした一人一人に応じた学習指導」に関する項目では、生徒は 22%が「不十分である」と答えています。保護者アンケートには 84%が肯定評価である現状（※項目 3）と照らし、今後は、つまずきや困り感があるときの解決への寄り添う指導に加えて、家庭学習とのつながりなど「主体的な学び」を培う環境づくりを学校と家庭で連携・共有して進めていくことが重要だと考えます。

→「将来への夢や希望を持っている」の項目では、生徒は 23%が否定評価をしています。社会全体が予測困難な時代にあるいま、生徒たちは間違いなく 10 年先、20 年先の未来を担います。お互いを尊重することの良さを実感すること、協働して様々な変化を乗り越えた経験、昨日までの学びが今日に結び付いているという実感など、学びの積み重ねが、将来の目指す自分像を描ける重要素だと考えます。コアとするカリキュラムはもとより、日常授業や家庭での学びで日々自己の学習を振り返り次につなげていく学習方法が重要だと考えます。

→「小中連携」に関する項目では、保護者アンケート結果では 30%近くが否定評価でした。対して生徒アンケート「小学校で学んだことと中学校で学んだことがつながっている」の結果には高い肯定評価で現れました。学校では、既習事項や既得技能、生徒のつまずきや再履修が必要な単元などについてきめ細やかに教科指導をするよう、指導計画に基づいて日々の授業を進めています。生徒の肯定評価はそのような取組への成果と受け止めます。ただし、小中の具体的な連携や接続には、まだ多様に取り組める方策があると考えます。

＜アンケート記述より＞  
 →欠席したときの学びの保障には、ICT 機器等の更なる効果的活用が可能だと捉えています。ご家庭のご協力をいただき学校体制を整えます。  
 →評価には、「確かな学力」を観点で行います。教科のそれぞれにおいて指導と評価がどのように一体化しているのかを明らかにして生徒と共有していくことが改善すべき重要点だと捉えております。  
 →生徒の登下校には、町の皆様による交通安全運動をはじめ見守りをいただいています。交通事故防止には不断の啓発と見守りが重要と捉えています。通学路の危険箇所には、気が付いた折ごとに速やかに改善を進めるため町教委を通じて町と共有していきます。

令和6年度の後期、いま妹背牛中学校では「発揮する」をスローガンとして、確かな学力の育成には「授業づくりの基本」を素地に日常授業を強化すること、豊かな心の育成には組織での生徒指導を貫き続けること、健やかな体の育成には「生徒と課題を共有し家庭とともに生活リズムの改善の方策を立てて着手すること」として、意図的に取り組んでいます。また、より一層信頼される学校であるよう、丁寧な進路指導を進めるとともに、小中連携の場面の開拓、働き方改革のより一層の見える化も進めています。  
 今後、学年のまとめの時期に向かいます。今回の学校評価アンケート結果を生かして後期の学校改善を進めていき、令和7年度の学校経営につなげていきます。学校では、保護者の皆様はもちろん、小学校、高等学校、関係機関、地域の皆様との共通認識のもと、連携を強化しながら、「身に付けさせるべき力を、確実に」の教育を実行してまいります。